

コストダウンのための生産から、中国内販向けの生産へ！

(日進医療器 株式会社)

会社概要(平成24年9月現在)

- 所在地: 愛知県北名古屋市沖村権現35-2
- 代表者: 代表取締役 松永 圭司
- 資本金: 5,000万円
- 売上高: 50億円
- 従業員数: 150名
- URL: <http://www.wheel-chair.jp>

①事業概要

<車椅子、福祉機器製造・販売>

設立当初は、スプリング及びプレス部品の製造をしていたが現在は福祉機器の製造に業態を変えている。平成17年、日本での生産がコストアップし、安価な海外製品の流入が増え、競争力を失ったことにより、コスト削減を狙って中国へ進出した。

②海外展開概要

<中国における合弁会社設立>

中国での生産は、製品全量を日本へ輸入することを目的として、日本と同等の品質追求にこだわり、アルミ製の高級品製造を目指してきた。当時は高品質が前提であったため、日本から大半の部品を現地へ持ち込んだため、コストメリットを出すことはできなかった。

現地での材料調達の見込みが立ち、また将来的な市場も見込まれることから中国への進出はすんなり決定した。香港企業との合弁であり外資として優遇されることもメリットであった。

しかし希望していた上海地区は、土地や人件費等のアップが見込まれるため、近隣でかつ電力供給が比較的安定している常州市に決定した。現地での行政支援も受けられた。当初は賃貸工場にて50名でスタートしたが、3年を経て現在は土地と工場に投資し、従業員150人体制となっている。

日本人は2名常駐、1名は工場運営、1名は最終検査を担当している。

8割の部材が現地調達でき、規格製品では10割が現地調達でき、コストメリットが享受できるようになった。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

「中国進出では、日本と同じ感覚で行くとその乖離に驚くが、それを割りきることが必要である。全ての約束事を契約に落とし込む事が重要である。例えば鉄材料であればミルシートの提出も要求すること。」と社長は話す。

④今後の事業展開について

平成22年までは全量日本向けであったが、現在では、中国国内市場への内販が2割を占めてきた。高齢化社会となりつつある中国市場で高品質製品の需要が増えてきたことから、将来的には中国市場への内販を5割まで高める予定。



取り扱い商品

車いす



医療・福祉施設向け用品

ストレッチャー



介護用品

歩行器、歩行つえ



(平成24年9月現在)

データ出所: 中部経済産業局